

Sikasil® **Hamatite**

SC-SR1 Plus

1成分形シリコン系シーリング材 脱オキシム形

CATALOG No. SJSB-35

BUILDING TRUST





(JIS A 5758の種類)
G-30SLM-9030G(SR-1)
G-20LM-9030G(SR-1)
JSIA F☆☆☆☆

空気中の水分により硬化する1成分形のシーリング材です。
自己接着性に優れ、硬化後は耐候性・耐久性にも優れます。防カビタイプもあります。
目地周辺への撥水汚染が発生する事があります。

SC-SR1 Plus

脱オキシム形

シーリング材性状

外観			ペースト状			
JIS A5758に基づく性能	スランプ(mm)	縦	5°C	0		
			50°C	0		
	スランプ(mm)	横	5°C	0		
			50°C	0		
弾性復元性(%)			92(92)			
被着体			アルミニウム(ガラス★)			
引張応力(N/mm ²)	23°C		0.3(0.3)			
	-20°C		0.3(0.3)			
定伸長下での接着性	23°C		NF(NF)			
	-20°C		NF(NF)			
圧縮加熱・引張冷却後の接着性			NF(NF)			
人工光曝露後の接着性★			NF(NF)★			
水浸漬後の定伸長下での接着性			NF(NF)			
体積損失(%)			7(7)			
耐久性区分			9030G			
参考となる性状	有効期間(月)		12			
	押し出し性(秒)	5°C	5			
		23°C	3			
	硬化速度(日) (5mm厚完全硬化)	仕様	通年			
		5°C	5			
		23°C	2			
指触乾燥時間(23°C・時間)		0.5以内				
密度(g/mL)		1.0				
H型引張接着性	被着体	条件		50%引張応力 N/mm ²	最大引張応力 N/mm ²	最大荷重時の 伸び(%)
		アルミニウム	養生後	23°C	0.32	0.61
	加熱後		23°C	0.35	0.50	180
	水浸漬後		23°C	0.32	0.61	260
	モルタル	養生後	23°C	0.29	0.60	260
		加熱後	23°C	0.33	0.64	240
		水浸漬後	23°C	0.28	0.57	260
	ガラス	養生後	23°C	0.34	0.63	230
		加熱後	23°C	0.35	0.55	190
		水浸漬後	23°C	0.32	0.61	260

※ SC-SR1 PlusのJIS A5758に基づく性能の()無しの数値はG-30SLM、
()内の数値はG-20LMに基づく試験結果を示しています。
★人工光曝露後の接着性は被着体にガラスを使用しています。
試験結果の「-」は試験項目外を示し、「NF」は「破壊なし」を示しています。
H型引張接着性試験は、JIS A1439に準じて実施しています。
「加熱後」の加熱温度は90°Cです。
結果は代表値を記載しています。

適材適所一覧表

カテゴリー	材料	施工方法	適用目地	備考
カーテンウォール	メタルカーテンウォール	方立方式	ガラス回り目地 方立無目ジョイント	
		パネル方式	パネル間目地	
PCカーテンウォール	PCカーテンウォール	石材先付け	ガラス回り目地	
		タイル先付け 塗装・吹付け	PCパネル間目地 窓枠回り目地 ガラス回り目地	○
各種外装パネル	ALCパネル (縦壁ロック・横壁アンカー構法)		パネル間目地 窓枠回り目地 クリアランスを設けた目地	塗装あり 塗装なし
	塗装アルミニウムパネル	強制乾燥 焼付塗装	パネル間目地	
	塗装鋼板	強制乾燥 焼付塗装	パネル間目地 窓枠回り目地	
	ほうろう鋼板		パネル間目地 窓枠回り目地	
	GRC、押出成形セメント板(ECP)		パネル間目地 窓枠回り目地	塗装あり 塗装なし
	金属断熱サンドイッチパネル		パネル間目地	
ガラス	単窓		ガラス回り目地	◎
	連窓		ガラス回り目地	○
	ガラス突合せ		ガラス回り目地	◎
金属製建具	建具回り		水切り・血板目地 建具間目地	
	工場シール		シーリング材受け	
	金属笠木		笠木間目地	
笠木	石材笠木		笠木間目地	
	PC笠木		笠木間目地	
	構造スリット		構造スリットの目地	塗装あり 塗装なし
コンクリート壁	RC壁、壁式PC		打継目地・ ひび割れ誘発目地 窓枠回り目地	塗装あり 塗装なし
		湿式石張り (GPC石目地を含む)	石目地(大理石除く) 大理石目地 窓枠回り目地	
	タイル張り		タイル目地 タイル下躯体目地 窓枠回り目地	
		外装	ALC薄型パネル	パネル間目地
外壁以外の各種目地	屋上	シート防水等の端処理		○
		コンクリート スリット目地		
	床	石張り・タイル張り	石・タイル目地	
		PCパネル(PC段床パネル含む)	PCパネル間目地	
	水回り	浴室・浴槽		○
		キッチンキャビネ・流し台		○
洗面台回り			○	
排水口回り・貫通パイプ回り			塗装あり 塗装なし	
手摺など支柱脚部回り			塗装あり 塗装なし	
室内壁(間仕切り)目地				○
塗膜防水材下地処理				

カラー

カラー名(対応色)	
ホワイト※1	ダークアイボリー※2
ライトグレー※1	アンバー
ライトグレー2	ブラック
グレー	クリアー
ダークグレー	ステンカラー
ダークブラウン	

※1 防カビタイプもあります。
※2 防カビタイプのみになります。
SC-SR1とは色調が異なりますのでご注意ください。
色調については、色見本帳でご確認ください。

荷姿

荷姿	300mL × 12本 / ケース
----	-------------------



主な被着体とシーリング材/プライマーの組合せは次の通りです。但し、ここでの表示は、被着体とシーリング材/プライマーの接着性を示すもので、シーリング材の材質選定の目安を示すものではありません。材質の選定にあたっては「<適材適所一覧表>」の欄を参照ください。

SC-SR1 Plusの接着性(プライマー選定表)

下地	適用被着体		プライマー	備考	
アルミニウム	アルマイト(電解着色を含む)		No.70 No.40		
	アルマイト+塗装(複合被膜)		No.70 No.40		
	化成被膜+エナメル塗装	ウレタン系	No.70 No.40		
		アクリル系	No.70 No.40		
フッ素系		No.70 No.40	*1		
スチール	塗装	錆止塗料	ジンクリッチプライマー	No.70 No.40	
		常温乾燥型	アクリル系	No.70 No.40	
		常温反応型	アクリル系	No.70 No.40	
	被膜	ウレタン系		No.70 No.40	
		ホーロー鋼板	No.70 No.40		
		塩ビ鋼板	No.70 No.40		
金属その他	ステンレス(ヘアライン、鏡面仕上)		No.70 No.40	*2	
	銅(素地、硫化処理)		No.70	*3	
	亜鉛メッキ鋼板		No.70		
コンクリート 石 ガラス	コンクリート		No.40	*4	
	モルタル		No.40		
	スレート類		No.40		
	花崗岩(御影石)		No.40	*5	
	タイル		No.40		
	フロートガラス		No.70		
	熱線吸収ガラス		No.70		
	強化ガラス		No.70		
	熱線反射ガラス		No.70		
その他	結晶化ガラス		No.70		
	成型ゴム類		No.70 No.40	*6	
	木材		No.40		
	FRP		No.70 No.40		
	硬質塩化ビニル樹脂		No.70 No.40		

上記、プライマーの選定は当社の試験結果及び技術的知見に基づく目安となります。
SC-SR1 Plusのご使用にあたっては、実際に使用される被着体にて事前に接着性試験を行うことを推奨します。
SC-SR1 Plusの接着性を確保するため、被着面を確実に清掃してください。
清掃剤やプライマーを塗布する際には、被着体面に不具合(塗膜の溶解や膨張など)が生じないことを事前に確認してからご使用ください。

- 備考**
- *1 被着体の製造条件等によって接着性にばらつきが生じることがあるため、パフ掛けを推奨します。
 - *2 表面が不活性のため接着しにくい被着体です。また、仕上げ加工のための研磨材や油類、保護フィルムの粘着剤が付着していることが多いため、接着面のパフ掛けを兼ねた清掃方法なども含めて検討することを推奨します。
 - *3 脱オキシム形は銅を腐食させることがありますのでご注意ください。また、硫化処理(硫化いぶし)を施している場合、表面に形成されている硫化銅の密着が不十分で接着しにくいので、パフ掛けを含めて検討することを推奨します。
 - *4 脆弱層がある場合は、ワイヤーブラシ、サンドペーパーなどで除去してください。離型剤が付着している場合は、サンドペーパー掛けなどの適切な方法で除去してください。
 - *5 種類や産地により染み出し汚染を起こす場合がありますので、事前に確認をお願いします。
 - *6 被着面の耐溶剤性を十分に調査してから、清掃剤やプライマーを選択してください。

使用プライマー

プライマー	No.70	No.40
タイプ	1成分形シリコン系	1成分形ウレタン系
ホルムアルデヒド放散等級	JSIA F☆☆☆☆	JSIA F☆☆☆☆
外観	無色透明	淡黄色透明
主成分	合成樹脂 シランカップリング剤	
	合成ゴム、合成樹脂、 シランカップリング剤	合成ゴム、合成樹脂、 シランカップリング剤
乾燥時間(分)	5℃	60以上
	20℃	30以上
	35℃	15以上
塗布後有効時間(時間)	8	8
開栓後有効時間(不使用時密栓)	当日内	当日内
有効期間(月)	6	6
含有溶剤	ノルマルヘキサン	酢酸エチル 酢酸ブチル
主な適用被着体	アルミニウム・ガラス	コンクリート・タイル

※注意事項:
●プライマーの施工時には、はみ出しや飛散にご注意ください。プライマーは完全に硬化すると下地に強固に接着し、有機溶剤にも溶解しなくなります。
施工当日のなるべく早い時間帯にトルエンなどを染み込ませたウエスなどできれいにふき取って下さい。
硬化後に削り取るなどの処置をした場合、除去の際に下地を傷つける可能性がありますので、ご注意ください。

打ち継ぎ接着性

	SC-SR1 Plus (シリコン系)	
	先打ち	後打ち
SC-SR1 Plus (シリコン系)	○ (なし)	○ (なし)
SC-SR1 (シリコン系)	○ (なし)	○ (なし)
SC-SR2 (シリコン系)	○ (なし、No.70)	○ (なし、No.70)
SC-MS2NB / SUPER II (変成シリコン系)	×	○ (No.70)
SC-PS2 (ポリサルファイド系)	×	○ (No.40、No.70)
SC-PU2NB (ポリウレタン系)	×	○ (No.40、No.70)
SC-SA2 / EVOMAX (シリル化アクリレート系)	×	×

- SC-SR1 Plusと他製品との打ち継ぎ性は従来品(SC-SR1)と同様です。
- 新築時の打ち継ぎを想定した接着性試験の結果に基づきます。施工環境及び経過年数によって接着性が異なる場合があります。
- ()内は打ち継ぎ時使用プライマーです。
- SC-SR1と同様に、SC-SR1 Plusは打ち継がれでの接着性にバラツキが出やすい為、先打ちでの施工は避け、必ず後打ちとしてください。
- 改修にあたっては、既存シーリング材が多く残存すると新規シーリング材に接着や早期劣化等の不具合が生じる場合があるため、入念な撤去をお願い致します。
- 他社製品に対する打ち継ぎ性については、本表の適用外となります。
- 特に改修工事に際しては、現物もしくは施工現場での確認をお願いします。

ハマタイト施工手順

ハマタイトの性能を十分に発揮するためには、配慮の行きとどいた施工が必要です。

1 施工前の打合せ

- 目地の納まりの検討(形状・寸法、2次排水処理、施工条件など)を充分に行ってください。

2 施工前の準備

- 材料、プライマーの選定、副資材の選定、施工要領書の作成をしてください。

3 施工前の検査

- 施工箇所の確認、目地の形状、寸法や段差の確認を行ってください。
- 被着体の欠陥(ジャンカ、欠け、ひび割れなど)の有無の確認と必要に応じて補修をしてください。

4 下地の清掃と乾燥

- 被着体が充分乾燥しているか否かを確認してください。
 - 油分、汚れ、ゴミなどによる接着の不良を防ぐため、乾拭きした後溶剤に浸しきれいな布で拭くなど被着面を入念に清掃してください。
 - 清掃溶剤は被着体の油分、汚れ等、接着阻害要因を充分に除去できるものを選定し使用してください(メチルシクロヘキサン等)。
- 尚、塗面を溶解する場合はノルマルヘキサンを使用してください。

5 バックアップ材の装てん

- 目地寸法に適したバックアップ材を装てんしてください。
- 目地の深さに余裕のない場合は、底部にボンドプレーカーを貼って二面接着を確保してください。(ワーキング ジョイントの場合)

6 マスキングテープ貼り

- 被着面にテープが食い込まないようにご注意ください。
- 粘着剤が残存しないもの、かつプライマーの溶剤で接着に悪影響を及ぼさないマスキングテープを使用してください。

7 プライマー塗布

- 刷毛などで塗りムラのないように均一に塗布してください。
- プライマーの飛散、はみ出しのないように注意して塗布してください。
- 所定の乾燥時間を確保し塗布後有効時間内にシーリング材を充てんしてください。

8 シーリング材の充てん

- 目地幅に合ったノズルで被着体に充分な圧力がかかり、かつ、目地底部まで充てんできるようにノズルの角度と充てん速度を考慮してください。

9 ヘラ仕上げ

- シーリング材を充てん後は速やかにヘラで仕上げてください。
- ヘラ仕上げは、押さえを充分に行い平滑に仕上げてください。

10 マスキングテープ除去

- マスキングテープの粘着剤が被着体に移行することがありますので、充てん後は速やかにマスキングテープを除去してください。

11 目地周りの清掃

12 シーリング材の養生

13 総合検査

※施工にあたっては材料を適正に使用しなければ性能を発揮できません。施工手順等を遵守して取り扱ってください。

取り扱い上の注意事項

取扱い作業

- 1 取扱中は保護手袋・前掛けを着用してください。
- 2 密室での作業に於いては、換気を充分に行ってください。
- 3 作業の状況に応じ、保護メガネ、保護マスク等を着用してください。
- 4 取扱後は手洗いおよびうがいを充分に行ってください。
- 5 直接皮膚に触れないようにしてください。
- 6 眼に入らないようにしてください。
- 7 蒸気を吸い込まないでください。
- 8 飲み込まないでください。
- 9 ハマタイト使用中は禁煙を厳守してください。
- 10 硬化するまで触れないで養生してください。
- 11 廃棄処理は、産業廃棄物処理業者に委託してください。

応急処置

- 1 皮膚に付いた場合はすぐに付着物をウエス等で拭き取り、大量の水と石けんでよく洗ってください。
- 2 かゆみや炎症が発症した場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 3 眼に入った場合は清潔な水で充分に洗浄し、直ちに眼科医の診断を受けてください。
- 4 蒸気を吸って気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移動してください。
- 5 頭痛等の異常がある場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- 6 飲み込んだ場合は多量の水または牛乳を飲ませて吐き出させ、直ちに医師の診断を受けてください。

取扱場所

- 1 火気のあるところでは絶対に使用しないでください。
- 2 取扱場所には局所排気装置を設けてください。
- 3 子供の手の届くところに置かないでください。

保管

- 1 密閉し、直射日光・火気・湿気・水を避け、屋内に保管してください。
- 2 有効期限内に使用してください。
- 3 開封後は速やかに使い切ってください。

用途以外の使用禁止

本品は建築用途に開発された製品です。本用途以外には絶対に使用しないでください。

※当カタログに記載されたハマタイト製品には、有害性・引火性のある製品があります。詳細な内容は、安全データシート(SDS)を参照してください。

本書に記載されている、当社製品の施工及び使用に関する情報およびアドバイス(あわせて以下「本件情報」といいます。)は、Sikaが現時点での知識及び経験に従い誠意をもって提供するものであり、当社製品が適切に保管され、適切に取扱われ、また、Sikaの推奨に従って通常の状況下で適切に施工されることを前提としております。本件情報は、本書に明記された施工条件による施工と明記された製品にのみ適用されます。例えば被着材の変更など、施工条件が変更される場合、または、異なる用途で使用される場合は、Sika製品を使用する前に、Sika技術サービス部門にお問い合わせ下さい。本件情報は、使用者が意図する製品の用途や目的について検証することを免除するものではありません。すべての注文は、Sikaの現時点での販売条件と納品条件に従うことを条件として、受注いたします。使用者は、使用される製品に関する最新のカatalogを常に参照して下さい。それらはご要望に応じて営業担当及び弊社ホームページ上から提供いたします。

2408 SJ TMSB DPL

